

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

岡山県岡山市

●地域における現状・課題

- ・少子化の進展により、中学校の生徒数や教職員数は減少している傾向にあり、部活動は廃部や休部、活動の縮小に追い込まれることが想定される。
- ・生徒にとっては、現在の部活動が充実した活動になっている一方で、少数ではあるが自分のやりたい部活動がなく、あったとしても少ない部員数であることなどにより、活動が低調となり、魅力が感じられない状況が生じる可能性がある。
- ・教職員の部活動指導に係る負担が増しており、学校における働き方改革が求められていることや、他方で生徒の育成は学校、家庭及び地域において担われている中で、地域のスポーツ・文化芸術団体や指導者、施設などの資源と学校との連携・協働が十分ではない状況もみられる。

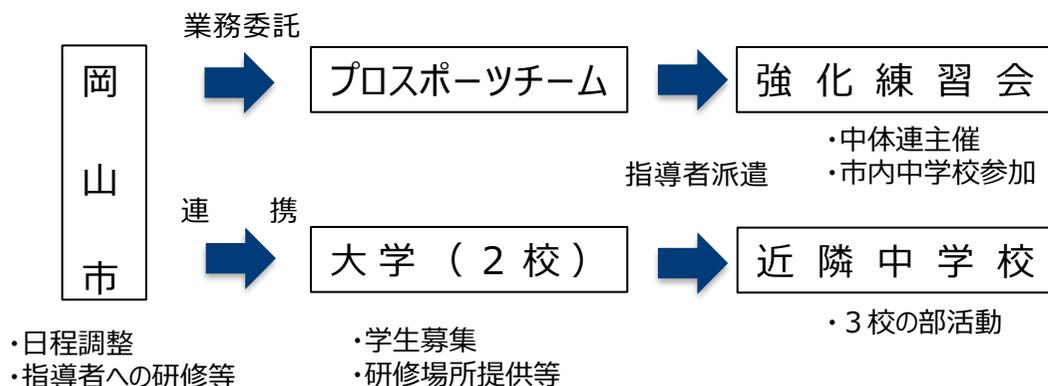
●取組事項の概要

- ・市内2大学と連携し、大学近隣の中学校3校の部活動へ大学生指導者を派遣
- ・市内プロスポーツチームへ業務委託し、市内部活動へ指導者を派遣

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・市立中学校3校に大学生88名を派遣し、指導を受けた生徒の約90%が「丁寧で理解しやすい」と回答し、高い満足度を得ることができた。
- ・派遣に伴う事前の研修においては、大学や中学校との研修内容を協議することで、研修の充実を図った。
- ・プロスポーツチーム（バレーボール、バスケットボール、卓球）との連携は、指導実施に係る日程調整や指導内容などを協議して指導者派遣を実施した。
- ・生徒や顧問からは、プロスポーツの高い専門性を活かした指導に対する高い満足度を得ることができた。

●運営体制図



【大学生指導者による指導（卓球）】



【プロチームによる指導（卓球）】